

2011年度「EーことCSRポイント制度」で寄付実施

～ 社員のCSRの取り組みを金額換算、被災地復興支援団体に寄付 ～

株式会社損害保険ジャパン（社長 櫻田謙悟、以下「損保ジャパン」）は、eラーニングで社員ひとりひとりのCSRの取組状況をチェックする「EーことCSRポイント制度」を2011年度も実施しました。17,403人の社員が自分自身のCSRへの取り組みをチェックし、その寄与度に応じて獲得したポイントを金額換算した総額1,502,126円を寄付します。寄付先には東日本大震災被災地における復興支援に取り組む4団体を選定し、寄付を実施します。

1. 「EーことCSRポイント制度」の概要

社員がeラーニングを通じて「CSR基本行動」、「職場でのエコ活動」、「社会貢献活動」、「家庭での取り組み」、「損保ジャパングループのCSRの取り組み」の5つの切り口からなる15項目について、日常の行動をチェックします。損保ジャパンは、そのチェック結果をもとに社員の取り組みに応じたポイントを金額に換算し、NPOなどの団体に寄付します。

本制度は2009年度から毎年度実施しています。

2. 2011年度の参加社員数・寄付金総額

本制度に参加した社員数・寄付金総額は以下のとおりです。

参加社員数	17,403人
寄付金総額	1,502,126円

3. 寄付先の選定

2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地復興支援に取り組む以下の4団体を選定しました。詳細は別紙をご覧ください。

- ・NPO法人 森は海の恋人（宮城）
- ・NPO法人 あぶくまエヌエスネット（福島）
- ・NPO法人 気象キャスターネットワーク（東京）
- ・JPCom（Japan Philippines Community & Communication）（大阪）

4. 今後の展開

損保ジャパンは、寄付先に選定した各団体で実施されるボランティア活動への社員の参加などを通じて、寄付先団体との連携も深めていきます。

なお、次回の「EーことCSRポイント制度」は、2013年1月を予定しています。

以上

**NPO法人
森は海の恋人
(宮城)**

<http://www.mori-umi.org/>

『自然の「環」から、人の「和」を育てよう!』をキャッチフレーズに、宮城県気仙沼市で環境教育・森づくり・自然環境保全の3分野で活動しています。本団体は震災で大きな被害を受けましたが、活動を再開し始めています。寄付は、植樹活動や環境教育などの活動資金として活用される予定です。



**NPO法人
あぶくまエヌエスネット
(福島)**

<http://www2.ocn.ne.jp/~abukuma/>

「土、自然から学び共に生きよう」をテーマに山村での生涯体験交流学习を実施しています。寄付は、福島第一原子力発電所事故の影響で野外活動を制限されている福島の子どもたちを対象に北海道で開催される「ふくしまキッズ 夏季林間学校」に活用される予定です。



**NPO法人
気象キャスター
ネットワーク(東京)**

<http://www.weathercaster.jp/>

環境・気象教育や防災知識を普及する気象キャスターを育成しています。寄付は、被災地の子どもたちを対象とした「環境・気象に関する出前授業」や「お天気イベント」などに活用される予定です。



**JPCom (Japan
Philippines
Community &
Communication)
(大阪)**

<http://www.jpcom.info/>

子どもたちの笑顔が広がる「ちいき」と「くらし」をつくることを目的に、フィリピンの人々と協働で、フィリピン農村部等の経済的自立支援および障がい者の生活自立支援をしています。寄付は本団体を実施する宮城県石巻市を中心とした被災地の子どもたちの支援に活用される予定です。

